

【教育目標】

- よく考え、最後までやりぬく子(知育)
- 思いやりがあり、助け合う子(徳育)
- 進んで体をきたえる子(体育)

【めざす学校像】

児童や教職員、一人一人が持つ良さや強みが発揮できる学校
～6年生がお手本となる学校～

学校だより

「はんだますい」

開き・関わり・育む

第5号
(R8.6.8)

坂田小学校
校長 金城美奈子



安心・安全

～平和月間スタート～ 校長講話「平和ってなんだろう」

6月3日に「平和ってなんだろう」と題して、校長講話を行いました。6月23日は、沖縄戦が終結した「慰霊の日」です。私たちはこの日、戦争で亡くなった多くの命に思いをはせ、平和について改めて考える機会としています。西原町も激しい戦いが行われた地域であり、今の私たちが立っているこの場所にも、深い悲しみと苦しみの歴史が刻まれています。講話では、子どもたちに「いつもの朝」がどれほど尊いものかを伝えました。朝起きて、ご飯を食べ、学校で友達と笑い合う。そんな当たり前の毎日は、決して当たり前ではありません。戦争の中では、家族と過ごす時間も、友達と語り合う時間も、突然奪われてしまいます。だからこそ、何気ない日常の中にこそ、平和の大切さが隠れているのだと気付くことが、平和を考える第一歩になります。また、沖縄には、古くから伝わる「ぬちどう宝（命こそ宝物）」という言葉があることにも触れました。自分の命も、周りの人の命も、かけがえない大切なものです。では、私たちが「平和を守る人」になるためには、何ができるのでしょうか。講話では、子どもたちに次のような行動を示しました。困っている人がいたらそっと「大丈夫？」と声をかけること。助けてもらったら「ありがとう」と伝えること。ぶつかったら「ごめんね」など謝ること。そして、相手を大切に一言や相手の気持ちを想像し、思いやりをもって行動すること。こうした小さな行いこそが、平和な日々をつくり続ける力になります。慰霊の日を迎えるこの時期に、子どもたち一人ひとりが、自分にできる平和への一歩を考える時間となれば幸いです。

坂田っ子の健やかな健康を願って

坂田っ子の健やかな成長支援として各種保健行事が校医の先生方の丁寧な診察の下で、実施されています。また、身体測定の後、養護教諭が「けがのてあて」の保健指導も行いました。

「擦り傷／切り傷／鼻血」に関する手当の仕方の話をしました。これまでにを行った検査は身体測定、歯科検診、1年生心電図検査、1～3年生と5年生の聴力検査、1年と5年生の内科検診、視力検査、尿検査となっています。

診察を待つ間、緊張した顔の坂田っ子も診察が終わったらほっとひと安心していました。お子様の検査結果の中で受診勧奨等がありましたら、早めのご対応をよろしくお願いいたします。



不審者避難訓練実施

6月4日（木）に不審者侵入を想定して次のねらいの下、避難訓練を実施しました。①緊急時に落ち着いて迅速に避難できる態度と習慣を身につけさせる。②担任及び担任以外の指示でも速やかに避難できる態度を身につけさせる。③訓練によって、緊急時に互いに助け合い、機敏に規律ある集団行動ができるようにする。④警察官等専門職員による視察・講評を受けることで、職員の避難訓練に対する、より一層の資質向上を図る。

子ども達の命を守るための訓練として浦添警察署協力のもと、職員の役割行動・児童の避難行動等を訓練することができました。大事なことは、安全に気を付けて、素早く避難ができることです。避難訓練を通して、危険回避能力が向上し、事件・事故に巻き込まれず安全に過ごせることを願います。

